

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

(省令で定める基準単位数を満たす単位分科目のみ抜粋)

学校名：学校法人三幸学園 札幌ブライダル&ホテル観光専門学校

学科名：ホテルエアトラベル科

授業科目名	単位数
観光総合知識A	2
コミュニケーション演習A	1
観光マーケティング	1
アウトドア基礎	1
国内地理Ⅰ	2
合計	7

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	観光総合知識 A		
必修選択	必修	(学則表記)	観光総合知識 A		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	北海道観光ハンドブック		出版社	(一社) 北海道商工会議所連合会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	北海道の観光を理解する。観光客を親切にもてなすことができる。				
到達目標	北海道観光マスター検定合格				
評価基準	授業態度 50％ テスト 4 回 50％				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	北海道観光マスター検定				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	濱中 淳子		実務経験	○	
実務内容	旅行会社にて添乗員として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	基礎知識・北海道観光マスター検定とは
2	観光地①	観光地（道央圏）
3	観光地②	観光地（道北圏）
4	見学	大通り公園などの観光資源
5	観光地③	観光地（道南圏）
6	観光地④	観光地（オホーツク圏）

7	観光地⑤	観光地（釧路・根室圏）
8	見学	北海道さっぽろ観光案内所
9	観光地⑥ テスト	観光地（十勝圏） テスト 1 回目
10	知識①	北海道の遺産・歴史
11	実践・企画	HAC「若者の翼」応募
12	知識②	北海道の祭り
13	知識③	北海道の自然
14	知識④ テスト	北海道の交通網と交通機関 テスト 2 回目
15	発表・討論会	夏休みの体験発表

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	コミュニケーション演習 A		
必修選択	必修	(学則表記)	コミュニケーション演習 A		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	コミュニケーション技法			出版社	ウィネット

科目の基礎情報②

授業のねらい	人前での話し方や良好な人間関係の作り方(コミュニケーション能力)を学ぶ。				
到達目標	人前で落ち着いて自分の考えが話せる。人の話をよく聞き発言できる。				
評価基準	制作物：30% 発表(やる気・声の大きさ)：30% 授業態度：20% 協調性：20%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者。 ・成績評価が 2 以上の者。				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	岡本 雄矢			実務経験	○
実務内容	札幌吉本にてコメディアンとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の目的、目標。発声練習・自己紹介
2	人前で話す事に慣れる	発声練習・自己紹介・ジェスチャーゲーム
3	人前で話す事に慣れる	発声練習・自己紹介・教科書記入
4	人前で話す事に慣れる	発声練習・自己紹介・教科書撮影・敬語の基本
5	人前で話す事に慣れる	発声練習・自己紹介・教科書プレビュー、振り返り
6	人前での話し方を意識する	発声練習・夢と動機発表、教科書

7	人前での話し方を意識する	発声練習・GW の出来事制作発表・ジェスチャーゲーム
8	人前での話し方を意識する	発表練習強化・1 ヶ月経って制作発表
9	人前での話し方を意識する	発声練習強化・決まった時間で自己紹介作成発表
10	腹式呼吸と活舌のレベルアップ	発声練習強化・決まった時間で自己紹介暗記発表
11	腹式呼吸と活舌のレベルアップ	発声練習強化・目的地までの道案内・面接の話
12	人前で暗記して話す	発声練習強化・教科書、個人で記入グループで答え合わせ発表
13	誰にでも分かる話し方をする	発表練習・教科書記入・全員参加でゲーム
14	挨拶の効用	発声練習・挨拶、マナー、エチケットについてを話し合い発表
15	挨拶の言葉遣い	発声練習・教科書記入、答え合わせ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	観光マーケティング		
必修選択	選択	(学則表記)	観光マーケティング		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	15
使用教材	新版 観光マーケティング入門		出版社	同友館	

科目の基礎情報②

授業のねらい	観光業界のマーケティング戦略について理解を深める。		
到達目標	マーケティング理論について学び、各企業の事例を通じて理解する。 ワークを通じて、自分だったらどのような戦略を立てるのか、を考えることができる。		
評価基準	ワークの発表：40％ 提出物：30％ 小テスト：30％		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	大内 智博	実務経験	○
実務内容	札幌市内のシティホテルにて 20 年勤務。現在「UNWIND Hotel&Bar 札幌」総支配人		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	教員の自己紹介、授業の流れ、評価基準について。
2	3C	Customer（市場・顧客）、Company（自社）、Competitor（競合）の視点で考える。
3	4P①	マーケティング・ミックスについて学ぶ。観光産業のケーススタディ。
4	4P②	ワークを通じて理解する
5	ニーズとウォンツ①	ニーズとウォンツの違いを学ぶ。
6	ニーズとウォンツ②	ワークを通じて理解する。

7	STP①	セグメンテーション・ターゲティング・ポジショニングについて学ぶ。
8	STP②	ワークを通じて理解する。
9	AIDMA	購買意思決定のプロセスと事例について学ぶ。
10	流通チャネル	旅行商品の流通チャネルについて学ぶ。
11	価格戦略	観光業界における競争市場戦略について学ぶ。
12	SWOT	SWOT 分析のワークを行う。
13	ブランド	ブランディングについて学ぶ。
14	CRM	リピート率を高める事例について学び、ワークを通じて理解する。
15	テスト	テストを実施する。

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	アウトドア基礎		
必修選択	選択	(学則表記)	アウトドア基礎		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	北海道アウトドアテキスト基礎編		出版社	北海道体験観光推進協議会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	市内探索や野外活動を通じて、観光の基礎を学ぶ				
到達目標	観光業の基礎的な知識が身についている 北海道の観光地を知り、お客様にアクティビティの提案や危険性が説明出来るようになる				
評価基準	レポート 40%、習熟度テスト 30%、授業態度 30%				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	弘中 祐		実務経験	○	
実務内容	アウトドアガイド、野外教育指導者として従事。2017 年より札幌市内にてアウトドアアクティビティの会社を経営				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について
2	観光業とは	観光業全般について学ぶ
3	市内探索オリエンテーション	市内探索をするにあたっての注意点、オリエンテーション
4	市内探索①	市内の施設見学①
5	市内探索②	市内の施設見学②
6	市内探索③	市内の施設見学③

7	市内探索振り返り	市内探索振り返りレポート作成
8	市内探索振り返り	市内探索振り返りレポート作成
9	野外活動オリエンテーション	円山公園探索、北海道神宮を参拝するにあたっての注意点、オリエンテーション
10	野外活動①	円山公園探索、北海道神宮参拝①
11	野外活動②	円山公園探索、北海道神宮参拝②
12	野外活動③	円山公園探索、北海道神宮参拝③
13	野外活動④	円山公園探索、北海道神宮参拝④
14	野外活動⑤	円山公園探索、北海道神宮参拝⑤
15	野外活動振り返り	円山公園探索、北海道神宮参拝振り返りレポート作成
16	野外活動振り返り	円山公園探索、北海道神宮参拝振り返りレポート作成
17	習熟度テスト	キャンプ実習の内容説明と準備
18	キャンプ実習オリエンテーション ①	キャンプ実習のための準備①
19	キャンプ実習オリエンテーション ②	キャンプ実習のための準備②
20	キャンプ実習オリエンテーション ③	アクティビティのための準備①
21	キャンプ実習オリエンテーション ④	アクティビティのための準備②
22	キャンプ実習オリエンテーション ⑤	キャンプ中に起こり得るケガと対応
23	デイキャンプ実習①	移動
24	デイキャンプ実習②	アクティビティオリエンテーション
25	デイキャンプ実習③	アクティビティ実施①

26	デイキャンプ実習④	アクティビティ実施②
27	デイキャンプ実習⑤	バーベキュー準備
28	デイキャンプ実習⑥	バーベキュー実施①
29	デイキャンプ実習⑦	バーベキュー実施②
30	デイキャンプ実習⑧	移動

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	国内地理Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	国内地理Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	旅行業務取扱管理者試験 標準トレーニング問題集 1 観光地理<国内・海外> 講師作成テキスト		出版社	大原出版	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	国内観光地理および資源における必要な知識について学ぶ。				
到達目標	国家試験・国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指す				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 提出物：20%				
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	国内旅行業務取扱管理者				
関連科目	JR 運賃計算Ⅰ、旅行業法Ⅰ、旅行業約款Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	濱中 淳子		実務経験	○	
実務内容	旅行会社にて添乗員として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、日本の地理における一般常識、到達目標について
2	北海道	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。
3	北東北	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。
4	南東北	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。
5	関東	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。

6	北陸	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。
7	中部	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。
8	関西	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。
9	中国	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。
10	四国	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。
11	九州北部	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。
12	九州南部	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。
13	沖縄	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。
14	全国の観光資源のまとめテスト	区域の概要、観光資源について学ぶ。
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ